

平成二十年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十年八月一日～十月末

投句数 一、六八八句

特選三句

天

ぼんぼりの点り銀河の遠くなり

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

地

海そこに有るを忘るる揚花火

神奈川県横浜市栄区

山田知沙子

人

竹林の奥なる茶席蚊遣香

埼玉県狭山市

古谷彰宏

入選句

一般の部

いつのまに途絶えてきみし蝉しぐれ

神奈川県鎌倉市

島津雅子

穂芒の光の中の地蔵尊

神奈川県鎌倉市

米山信男

白萩の波とふくれてうねりをり

神奈川県鎌倉市

前田純子

みほとけのまなざしあつきひがんばな

愛知県犬山市

柘植政乃

江ノ電の去りし線路に草の花

神奈川県鎌倉市

中久喜皓

紅葉して重なり合ふて水草かな

神奈川県逗子市

佐藤信子

木犀の電車の中に匂ひ来し

神奈川県鎌倉市

中谷正

秋高し山門を出る僧の列

神奈川県鎌倉市

大谷直吉

大小のリユック揺れゆく柿日和

神奈川県平塚市

小野寺信雄

天園に登れば谷戸の紅葉濃し

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

新涼の風吹き抜ける仁王門

千葉県習志野市

小川辰也

採りたての鎌倉野菜朝の露

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

蓮咲きて源平池の風平ら

神奈川県小田原市

近藤久江

雨あがり虹のたもとの建長寺

大阪府大阪市平野区

伊勢友美子

もののふの都やきりり菘白し

神奈川県茅ヶ崎市

菅谷淑子

秋高し五山めぐりの人力車

東京都世田谷区

中村芳子

園丁も蓮の実飛ぶを見ざりしと

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

虫の音を鎮めて長谷の通り雨

東京都新宿区

貞住昌彦

木犀の雨やここより化粧坂

神奈川県足柄上郡

新井たか志

天高し濁世見つめる仏の眼

千葉県野田市

興津恭子

(順不同)

入選句

子供の部

夏休み観光スポット建長寺

埼玉県所沢市

上村瞭太郎

こぶくろのさかにひびくよせみしぐれ

千葉県柏市

藤野航史

ひがんばながけにひとりでさいていた

神奈川県横浜市都筑区

中塚万穂子

大仏とともにみたんだあきのかぜ

埼玉県越谷市

吉川和輝

源氏山すずしい風がふいている

埼玉県越谷市

吉原佑佳

英勝寺記憶にのこるひがん花

東京都杉並区

新正浩暉

ながれぼしおねがいごとをかなえてね

神奈川県川崎市川崎区

菊地あいこ

だいぶつのすきな食べものすいかかな

神奈川県横浜市青葉区

いのうえひなこ

かまくらはみどりのおおいところだな

神奈川県横浜市都筑区

足立愛実

秋風や義経くつろぐ満福寺

東京都練馬区

増島尚希

(順不同)